
こねこ、ねこねこ

麻生柚葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

こねこ、ねこねこ

【Nコード】

N6003M

【作者名】

麻生柚葉

【あらすじ】

この おはなしは ちいさな こねこが であつた ゆうくんと
の おはなし

ゆうくん だいすきだよ！ ぜったいに つばさのこと わすれな
いでね！！

小さな家出子猫が不器用なゆうくと出会います。そんな二人のほ
のぼの過ごす一週間のお話。そして可愛い恋のお話。

01・こねこのであい

この おはなしは（前書き）

このお話は こねこ である幼児視点（ようは平仮名ばかり）で
す。
苦手な方はご注意ください。

これから おはなし するのは、とある ちいさな こねこの おはなしです。

こねこ の であい

こねこは ひとり 道に 立ちつくしていました。
まわりに知っている人は だれも いません。

こねこ、こねこ、まいごのこねこ
こねこは ひとりぼっち

だけどね、こねこは 泣きません。

だって ほんとうは こねこは まいごじゃ ないんですもの。

“まいご” じゃなくて “いえで” なの。
ひみつだよ。

こねこ、こねこ、いえでのこねこ

こねこは のぞんで ひとりぼっち

お家にね かえりたくないの。

だって、だって・・・

それはね、おしえてあげない。ひみつだよ。

りゆうは おしえて あげないけれど、こねこはお家をとびだした！

走って走って、ころんで、走って

見たことのないところが たくさんあるよ

知ってる人も だれもないよ

ちいさな ちいさな 足で走って

こねこは とつても だいまんぞく！！

知らないところは わくわく だいぼうけん
これから どこに行こうかな

『ねえちびっ子、こんな所で何やってるの？』

そんな、ひとりぼっちの こねこに一人の大人がこえをかけました。
こねこは とつても びつくりしたの

だって、“いえで”がばれたら お家にかえらなくちゃ だめ
それにね、知らない人には気をつけなきゃいけないんだよ？

ただどね、ただどね。こねこに こえをかけた その人は
ちよっと こわいかおを してたけど、おめめがきらきら きれい
な人

笑わなかったけど しゃがんで おめめを あわせて あたまを
なでてくれたの
それにね こえが とってもやさしかったの

『ちびっ子？』

『・・・いえで』

こねこは すなおに おしえたの
だって、この人のこと 気にいったんだもん！

そしたら もっと こわいかお
おこられちゃうのかな？

ただどね、お家にかえりたくないんだよ。

『家はどこなの？』

『ひみつだよ。』

これはね、ぜったい おしえてあげないの
そしたらお口をへの字にまげて ためいき ひとつ

『はあ、仕方ない。見つかるまで預かるか・・・』

こねこ、ねこねこ　ちいさな　こねこ
ちいさな　おててと　おおきな　おててが　つながって
こねこは　ひとりぼっちじゃなくなって、ふたりになったの

02・こねことゆうくん

ちいさな こねこが であった

ちいさな こねこが だいすきなのは とっても とっても やさしい人。

ゆうくん 十七さい とってもプリンがだいすきで とってもニンジンがだいきらい。

せがたかくって とっても かつこいい

こねこ と ゆうくん

こねこは その人に手をひかれて あたらしいお家にやってきたの
こねこのお家より小さかったけど、こねこの お家じゃなかったら
どこでもいいよ

『ちびっ子、家出の訳とか聞いてあげるから。』

『ちびっ子じゃないよ。』

お家の中の ソファーは ふかふか とびはねたくなりました。
いつのまにか その人は 手に 二つのカップを もっていて。
こねこは だいすきな ホットミルクをもらったよ。

『つばさ だよ。』

そう、こねこは つばさ っていう なまえなの

『僕は ゆうり だ。』

『ゆうくん!』

『・・・ゆうくん・・・か。』

ゆうくんは へんなかおして あたまを かきました。

『だめ?』

『いや、問題無いよ。』

そう言っつて、ゆうくんは すこし わらいます。

そして、つばさの あたまを なでるのよ。

ゆうくんは あたまを なでるのが すき みたい。

『それで?』

『?』

『どうして家出てきたの?』

『ないんだよ。』

つばさは しいー! っつて ゆびを 一本 おくちに あてます。

そしたら、ゆうくん こわいかお

おこつて つばさに デコピン はっしや

『・・・いひゃいつ』

つばさは あまりの いたさに なみだめ
うーって うなつて ゆうくんは こうぎしたけど まだ こわ
いかお
ぼうりよく はんたい

『駄目』

『やだ』

ゆうくんは つばさの 前に手をちかづけると もう一回 デコピ
ンの じゅんび
・・・ぼうりよく はんたい

『いっしゅうかん』

『・・・？』

『いっしゅうかんだけ、おねがい。
ゆうくんには めいわく かけないようにするから。』

しゅんと おみみを たらして ふるふる ふるえる つばさ

『・・・』

『言えないの。いっしゅうかんでお家にかえるから。おねがい』

つばさの うるうる おめめで うわめづかいの こうげき！
ゆうくんは ところに ダメージをうけた！！

『・・・はあ、わかった。わかったよ。一週間だけだからな！』

ゆうくんは とってもやさしい。そして いい人。

こまってる人を ほおっておけなくて、みすてられないの
びっくりするくらい おひとよし

ちよろい！ なんて おもったのは ひみつ

さぎに ひっからないか だまされないか ふあんになっちゃうよ。

だから、つばさが いっしゅうかんだけだけど おれいに まもつ
てあげるからね。

おっ、いねこのにちじょう

ゆうくんのおはなし

いつも まゆに しわをよせて こわいかお。 おくちは への字
ぶつちようづら

だけどね よあーく 見て見て！

ゆうくんは ちよっぴりぶきようなだけで ほんとうは はずかし
がりやさんなんだよ。

こねこの にちじょう

つばさは ぶじに ゆうくんのお家に いっしゅうかん おとまり
することが けていたよ！
やったね！！

『あー、つばさの洋服とかどうするかなあ。』

つばさと ゆうくんは 大きさが ちがうから かりることは
きません。
ゆうくんは こまったように 口をちよっと ゆがめると
おさいふを かくにんしようと思いました。

『だいじょうぶだよ!』

つばさは　せなかに　せおったリュックを見せます。
中には　ようぶくに　パジャマ　はぶらしセット、それとちょっと
の　おかし

おとまりセットが　ぜんぶはいつてます。

『ちびっ子の癖に用意周到だな、おい。』

『うふふ。つばさちゃんは、かしこい子なの!』

だって、つばさは　ほんきで　いえで　してきたんだから。

* + * + * + * +

ばんごはんの　じかん　はじめて食べる　ゆうくんの　てづくり
ごはん

ゆうくんの　ごはんは　とっても　おいしい。

これが　“あいじょうたつぷり”　ってやつだね!

すききらいは　だめ　っていうけど、ゆうくんの　おそろに　ニン
ジンがのってないのに　きづいちゃった。

つばさは　やさい　食べれるよ

『ゆうくん、ニンジンあげる』

『何だ?食べれるって言ったじゃないか。』

『ゆうくんが　きれいなんでしょ?おそろに　ニンジン　ないよ。』
『・・・う、先に食べたんだ。先に。』

『うーそーつーきー』

これじゃあ どっちが こどもか わかんないよ。ゆうくん。

ごはんを食べたら はみがきの じかん

『何だ？寝る前にすれば良いじゃないか。』

『だめだよ ごはん食べて すぐじゃないと むしばになるよ！』

『お前そんななりで案外しっかりしてるんだな。』

とうぜんです。 ゆうくんは 一言よけい

しぶる ゆうくんを ひっぱって、せんめんじょで 二人 なら
んで はみがき

いつも 一人だから ちょっとだけ くすぐつたい

ゆうくんは キッチンで さらにあらう

つばさは ソファーの上で テレビ

つばさも おてつだいたいのに

『危ないから つばさは何もしなくて良いよ』

つて ゆうくんは言う。

つばさにも なにか おてつだい できることは ないのかなあ

04・こねこのおふる

おせつかいで　せわやきで　しんぱいしよう
こまってる人を　ほうっておけなくて　ついつい　たすけちゃう
見てるこっちが　あぶなっかしく　おもうから、ほどほどに　して
ね。

こねこ　の　おふる

『さーて、風呂入るぞ。』
『うん。あがるの　まってるね。』

ん？と　まゆをよせる　ゆうくん。
つばさの　くびねっこを　つかむと　ひょいっと　もちあげちゃい
ました。

いつきに高くなる　しせんと　ちかくなる　きらきらの　おめめ

『何言ってるんだ。一緒に入るぞ。』
『だめだよ。ゆうくん！』

『何でだ？』

『おとこの子とおんなの子は いっしょに はいっちゃん だめ！』

『男と女って・・・お前ちびだから問題ないだろ。』

『もんだい！ だいまんだいなの！！』

いつも一人ではいってるから だいじょうぶなのよ』

じたばた あばれて ゆうくんの手から のがれると しゅた！つ
と かれいに ちゃくち

『ちよつ、でもなー。』

『セクハラっていうんだよ！そういうの。セクハラはんたい！！』

『あー、もう分かった分かった！』

つばさから入って来い。注意して気をつけて入るんだぞ。』

『はい。』

もってきた パジャマと かしてもらった タオルをもって いざ、
おふろばへ！

『ぜったいぜったい、のぞいちゃだめだからね』

『はいはい。気をつけるよ。しっかり洗って、肩までつかれよ。』

おふろは つばさの だいすきな じかん
体をきれいに あらって サッパリするよ。

ゆうくんがおふろばの外で うろろしながら ききみみを たて
てたの しってるよ。

つばさが おぼれても すぐ かけつけられるように してたんだ

よね。

ゆうくんは ほんとうに しんぱいしよう なんだから。

だからね わざと おうたを うたったり、

ゆぶねに つかるときは こえを だして かずを かぞえたの

これなら、あんしんでしょ？ ゆうくん

おふろから あがったら ゆうくんが あたまをふいてくれたの
だからおれいに、ゆうくんが おふろから あがったら つばさが
ふいてあげたの。

つばさの かみのけは ふわふわ だから ぴよこぴよこ はねた
けど

ゆうくんの かみのけは まっすぐで ペったんこ
いいなあーって おもったら、ゆうくんも おなじこと おもった
んだって。 いっしょだね！

こんなこと はじめてだったから たのしかったよ。

++*+*+*

よいこは もう ねるじかん

ベッドは一つしかないから、ここはがまん

おふろあがりだから ぽかぽかして あつたい

ゆうくんが あたまを やさしく なでてくれるから

とっても ここちよくて ふわふわな きぶん

これなら ぐっすり ねむれそう

ゆうくんの
においにつつまれて
おやすみなさい。

05・いねこのきょうふ

やさしくて ぶきょうな ゆうくん

そんな ゆうくんは こねこは こいをした
あこがれ なんかないよ。 これは れっきとした こいころ
チョコレートみたいに あまくて かわいい こい。

こねこの きょうふ

だれにだって にがてなものは あるんです。
つばさにも・・・ もちろん ゆうくんにもね！

その日の お外は あいにくの 雨ざーざー。
せつかく ゆうくんと おでかけしようって やくそくしたのに
こんどに もちこし。とっても さんねん。

てるてるぼつずは つくったから あした てんきに なあれ！

『おーおー、ずいぶん不恰好なてるてる坊主だ事。』
『むー』

ゆうくんは たまに いじわるです。

『ほれみろ、僕の上手くできただろ。』

どうだ！ と、てるてるぼうずを つきだしてきます。

ちようどいい まんまるおかお。むすぶところも きれいです。

だけどね ゆうくん。

『・・・へんな かおなの。』

ゆうくんは えを かく センスが ありません。

『うつせ！』

きれいな かたちの ゆうくんの てるてるぼうず。ちっちゃな
つばさの てるてるぼうず。

まどに ならんで つるされて。二人は とっても なかよし
な
のです。

まどの お外は ざーざー 泣きむし
ゴロゴロ ぴっかん！ おこりんぼ

かみなりさまが おっこちて おもわず つばさは ゆうくんに
タツクル

『にゃー!』

++*+*+

その日の お外は ざーざー 泣きむし。
ただね、おこつては ないみたい。

おでかけは またあしたに もちこし。
さんねんだけど あしたの てんきよほうは、にっこり はれマーク
あしたは おでかけ いけますように

しょうがないから きょうは テレビに くぎづけ
二人 ならんで ソファーに すわって なかよしこよしの テレ
ビかんしょうかい

『・・・っ!』

『すっごいねー、ゆうくん。おばけさんだよ。』

みているものは ホラーのとくばん
つばさは こういうの だいすき!
だって、ほんものは 見たことないから こわくないよ。

『おまつ、怖くないのか・・・』

見かけによらず、度胸あるな。ひい!』

『ゆうくんが おくびょうな だけなのよ』

きらきら おめめは うるうる うるんで

『だって、ほら見るよ。気持ち悪いのが写真に写ってるう!』

『だいじょうぶ! ゆづくんは つばさが まもってあげるから!』

『それは、頼もしいことで・・・!』

ぶるぶる ふるえて まっさお おかお

それでも テレビを けさないのは、 つばさが たのしいからだよね!

ちっちゃくなる ゆづくんと どうしようと すわってる つばさ
いつもと たちばが ぎゃくてんなのです。

テレビの中では おばけが たくさん。

ひゅーひゅー どろろん! いきなり テレビは だいこんらん。

くびだけ おばけが あらわれて つばさは ゆづくんの だきま
くら

『ぎゃー!』

06・いねじとさみしいよる いちずで ふわふわの つばさ

人から すぐ ごかいされちゃう ゆうくん

ほんとうは さみしいのに 言えない はずかしがりやさんな ゆ
うくん

だれよりも あったかくて やさしい ゆうくん

こねこ と さみしいよる

ゆうくんと ねる よるは いつも ぽかぽか あったかい
だけどね、きょうは ちがったの

つばさは とってもこわい ゆめをみて
こわくて こわくて とびおきて
すぐく むねが くるしいよ

まっくら よるが おそつてきて おつきさまも おほしさまも
食べちゃった。

つぎはきつと つばさのばん。 つばさは きつと 食べられちゃう

そうしたら ゆうくんに もう 会えないの？

そんなの いやだよ ゆうくん。
ずっとずっと、いっしょに いてよ

泣いちゃだめ つばさは つよい子だから 泣かないの
これは ゆめなんだから 泣いちゃだめ。

わがママも 言っちゃだめ
ゆうくんとは もうすぐ おわかれしなくちゃ いけないの

ゆうくんは となりで ねむってる。だいじょうぶ。
だけど つばさは ひとりぼっち なの

『おーおー。』
『おこしちゃった?』

『にゃー』
『ゆうくん?』

おねぼけ ゆうくん。
ねごとで ねこに なっちゃった

いきなり ひきよせて つばさは ゆうくんにとじこめられる。
ぎゅーっと くつつく ゆうくんと つばさ
すっぽりはまった うでのなか すっかり つばさは だきまくら

やさしく あたまを なでられて

あつたかくって　とっても　あんしんするのです。

おねぼけの　ゆうくんは　すぐに　ゆめのなか
とっても　ちかくで　しんぞうのおとが　きこえるよ

『つばさー。・・・むにゃむにゃ』

ゆうくんは　つばさの　ゆめを　見ているの？
しあわせそな　かおを　してるのよ

なんだか　あんしんしたら　また　ねむくなつてきて

つぎは　つばさも　ゆうくんのゆめ　見れると　いいな

07・いねいやどーと

すなおで　しょうじきなのに　ことばに　できない　あまのじゃく
な　ゆうくん
たまに　こどもっぽくて　むきになって　かわいい　ゆうくん
てさきは　きょうなのに　せいかくが　ぶきょうな　ゆうくん

こねこと　でーと

おひさま　ににに　きょうの　おそらは　ごきげん　いいてんき
きょうは　ゆうくと　まちにまった　おでかけ・・・デートの日
！！

『ゆうくん・・・かっこいいのよ』

おでかけ　ファッション　ばっちりで
ぼうしを　かぶった　ゆうくんは　いつもいじょうに　かっこいい

『・・・お前も可愛いよ。』

ぶいっと かおを そむける ゆうくん
てれちゃって それを かくそうとしてるのが バレバレな たいど
ぼうしを ふかく かぶっても おみみが まっ赤に なってるの
つばさからは まる見えなのよ

やっぱり ていせい ゆうくんは かわいい

おててを つないで 行つてきます！
きょうは どこへ 行くのかな？ わくわく

* + * + * + * +

やつてきました。おかいもの！

つばさが ゆうくんとなら どこでもいいよ って言ったらね
ここは ゆうくんが 来てみたかった おみせ なんだって

ふわふわ きらきら かわいい ざっかが いっぱい あるのね
ハートのクッション、みずたまパジャマ、いいにおいの せっけん

てれやな ゆうくんは 一人じゃ 入れない おみせなのよ

『やっぱり、こついう店は僕には合わないな』
『そっ？』

ゆうくんは まゆをよせて くしうぎみ

つばさには わかる ゆうくんの こまっているかお
だけど ゆうくん。それじゃ まわりの人に おこってるって か
んちがい されちゃうよ

『シンプルの方が落ち着くからな』

つばさは にあうと おもうけど

いつも かつこいい ゆうくん。 だけど かわいいところも あ
るから だいじょうぶなのよ

知らない人が 見たら おどろくかも しれないけど かわいいも
のが あわないなんてこと ないよ

『・・・おつ、これなんかどうよ?』

わたされたのは ちいさい つばさには かかえるほど 大きな
ねこの ぬいぐるみ

おめめの色と おみみの色が いっしょで まるで つばさの ぬ
いぐるみ なのよ

『お前、それ似あうな』

『そう?』

『うんうん。 つばさが二人いるみたいだ。 よし買おう。』

『ぼくは こっちのが いいのよ』

つばさが もってきたのは ねこと おなじしゅるいの かわいい
うさぎの ぬいぐるみ

『ん? そっちも可愛いが、 お前うさぎのが好きなのか?』

『これは ゆうくんなのよ。 そっくり。 ゆうくん……』

『そうか?』

『うん!』

くろい色は ゆうくんの かみのけの色。 だから くろい色が
ぴったり!

うさぎは つばさの。 ねこは ゆうくんの。
おたがいの めいぐるみを もって おそろい なのね。

『それにしても、遊園地みたいな所じゃなくて本当に良かったのか
?』

『いいの。だって ゆうえんちじゃ ゆうくん ないちゃう。』

だって、おばけ きらいでしょ?

うっ、と ことばに つまる ゆうくん

『それに こどもは のれないの おおいもん』

『まっ、それもそうだなあ……』

『じゃ、水族館!』

『おさかな 食べたくなるのね』

『……じゃ、映画館!』

『おばけの みても いいんなら』

『うん。 買い物でいいな』

『そうなのよ。』

だから、ゆうくん。つぎの おみせに ゴー！ なのよ。』
『おうよ。』

二人の たのしい おかいものは まだまだ つづくのよ

08・こねこがまいご

これは ちいさな こねこの

知らない人が たくさんいた あのはしょで

こえを かけてくれたのは きらきら おめめの ゆうくん
きつと あのと き こねこは こいに おちたんだね

こねこ が まいご

たいへんです。

ゆうくんが まいごに なりました。

つばさじゃないよ。

ゆうくんが まいごなの

はぐれないように おててを つないでたはずなのに
人なみに ながされて、気がついたら ゆうくんが いなくなっ
ちやっ

ゆうくん どこにいるの？

まわりは みんな 知らない人ばかり

キヨロキヨロ キヨロキヨロ

おかしいな ゆうくんにあう前は、 “ いえで ” したときは
こわくなかったのに
どうしてかな ゆうくん。

ゆうくんの うさぎを ぎゅっと だきしめて
つばさは うごけなく なりました。

ゆうくん、ゆうくん。だいすきな ゆうくん
つばさじゃなくて ゆうくんが よるに 食べられちゃったの？

『 ゆうくん・・・ 』

そんなの だめ！

つばさは ゆうくんを まもるって きめたの！
だから、泣かないよ

だいすき だいすき。ゆうくんが だいすき。
よるに 食べられちゃったなら
つばさは ゆうくんを たすけにいかなくちゃ

負けちゃだめ！
つばさは、つばさは・・・・・・・・

『つばさっ!』

いきを きらして 走ってきてくれた ゆうくん
つばさの かおを 見るなり だきしめました。

『お前小さいから、見つからないかと思ってホント焦った。』
『うん。』

ゆうくんは あんまり かおに でないけど
すっごく しんぱい してくれたんだよね
ゆうくんのことだもん わかるよ。

『でも良かった、見つかった。怖くなかったか?』
『・・・うん。』

つばさは ゆうくんの ようぶくの そでを つかんで すりより
ます。

ゆうくんは なにも言わずに ぎゅっと だきしめてくれました。
よしよしと いつものように あたまを なでる やさしいて

ほんと、ひといき。ひとあんしん
ひとりぼっちは きらいなのよ

だから、ゆうくん
つないだては ぜったい はなしちゃ だめなんだからね

09・こねこにおくりもの

かわいい こいの おはなし

こねこが さみしいときに そばにいてくれて
こねここと はなればなれになったら いちばんに みつけてくれて
こねこを・・・ こねこのことを たすけて まもってくれて

こねこ に おくりもの

もう おでかけは とつぶん したくない
ゆうくんの お家が つばさは いちばん おちつくのよ

『つばさ、つばさー！』
『にゃー！』

ゆうくんに よばれて ふりむけば いきなり カシャッと まぶ
しい ひかり
めを ゴシゴシ こすって ゆうくんを にらみつけると そのて
には カメラ

『いつもお前は変な顔だな。』

それは ゆうくに 言われたくない
つばさは プリプリ おこっちゃうんだからね！

ただどね いつもの ぶつちようづらなのに ちょっと うれしそ
うな ゆうくん
そんな かおを見たら まあ いいやって おもったの
きょうの つばさ ちょっと 大人？

『ぼくも とる！』

『つばさ、わあ！よじ登るな！ちよつ、やめっ！』

やられてばつかじゃ きにくわない！
そっくり そのまま やりかえすよ

『とつたー！ えい！！』

『おい！』

はしゃぎながら おいかけっこしながら とる しやしん
いちまい また いちまいと ふえる 二人の しやしん
たくさん の わらいごと たくさん の しあわせ

データが いっぱいに なったときには 二人とも クタクタ
だけど とつても たのしくて

へやに 大の字に ねころがって 二人して 笑ったの

たくさん とった しゃしん プリントして アルバムに入れて
ゆうくんは プレゼントしてくれた
うれしい うれしい

だいすきな ゆうくんが いっぱい
つばさと ゆうくんが たのしそうな しゃしんも いっぱい
へんなかも ぶれてる しゃしんも はみだしてる しゃしんも
たくさんだけど
ぜんぶぜんぶ たいせつな おもいで

とっても すてきな たった一つの プレゼント

『ゆうくん、ありがとう！』

うれしすぎて おもいきり ゆうくんの 足に とびついた

うふふ。ゆうくん だいすきだよ！

10・こねこのおかえし

ぜんぶ ぜんぶ ひつくるめて ゆうくんがだいすきだよ。

こねこは とつても あったかいきもちに なりました。

ゆうくんと いっしょに いられて ほんとうに しあわせでした。

こねこ の おかえし

つばさは かんがえました

くろいうさぎの めいぐるみ、おもいで いっぱい アルバム

つばさは ゆうくんに もらって ばかりです。

だから ゆうくんが おどろくような プレゼントしないと！

おかねは すこしだけ もってます

だけど つばさが かいに行くと ゆうくんに すぐ ばれちゃうし
てれやな ゆうくんは べつにいいよ って言うに ちがいないのよ

それは だめ！

だめったら だめ！！

リュックの中には おとまりセットだけ
おかしは もう とつくの むかしに つばさの おなかの中
なにを あげたら いいのかなあ？

ゆうくんは なにを あげたら よろこんで くれるかな
きつとね ゆうくんは やさしいから なにをあげても よろこん
じゃうね！

だから ようーく かんがえないと だめなのよ
とびつきり すてきな プレゼントじゃないと だめなのよ

ゆうくんには ばれないで ゆうくんが よろこぶ プレゼントって
あるのかなあ・・・

++*+*+*

ねらいどころは ゆうくんが ごはん つくつてるとき
そして おふろ はいってるとき
そのとき つばさは テレビの じかん

だけどね かみを とりだして
一人で こっそり おえかきの じかん

かっこいい ゆうくん かわいい ゆうくん。それに ちいさな
つばさ

くろいうさぎの めいぐるみに つばさねこの めいぐるみ
おひさま くも おはな おいしかったごはん ゆうくんの すき
な プリン

ちょっと いじわるして ゆうくんの きらいな おばけも かい
たの

たくさん おもいで つめこんで、たくさん あいじょう つめこ
んで
いっしょうけんめい かいたのよ
とっても すてきな えが いっぱい。

そして ついに かんせい つばさ がはくの さいごつけっさく！
うふふ。よろこんでくれると いいな

『つばさ？』

ちようどよく おふるあがりな ゆうくん
しめった かみのけ タオルは あたまに のつけてるだけ
ちゃんと ふかなきや だめなのに

『どした？』

『ゆうくん！ゆうくにプレゼントなの！！』

よろこんでくれるかな？

おどろいた かおの ゆうくん
ありがたくなって となりに すわって あたまを なでて くれま
した。

いちまい いちまい ゆっくりと見て
ゆうくん、いつも つりあがってる まゆげが だんだん 下がっ
て きたのよ

そしたら ふるふる ふるえて きゅっと むごんで だきしめて
くる ゆうくん

あれ、ゆうくん うれしすぎて 泣いちゃった？
つばさは つみな子 なのね

11・こねことおわかれ

ゆうくん だいすきだよ！

ゆうくんの であいに かんしゃします

そして たくさんの つたえきれない ありがとうを おくります。
ゆうくんと こねこの こゆびには “うんめいの 赤い いと” が
つながってるよ

だから ほかの人に ついていつちゃ だめだからね

こねこ と おわかれ

きょうは ゆうくと であって いっしゅうかん
ゆうくんの おわかれの日

とっても とっても いやだけど
すごく すごく かなしいけれど
つばさは わがまま いわないよ

だって ゆうくに きらわれたくないもん

『本当に一人で帰れるのか？』

『だいじょうぶなのよ　ここまで　一人　できたんだし　かえることも　できるのよ』

ここは　ゆうくんに　はじめて　あつたばしょ
うんめいの　であいをした　おもいで　の　ばしょ

『ゆうくん』

『なんだ？』

『ゆうくん　ゆうくん　だいすきだよ

ぼくが　おおきくなったら　けっこんしてね』

そしたら　ゆうくん　おめめ　まんまる　びつくりな　かお
つばさの　ゆうきを　だした　あいの　こくはく
それなのに　ゆうくんは　とっても　しつれい

『いや・・・あのな、お前勘違いしてるけど僕は女なんだよ。

男っぽい・・・っていうか、殆ど男装に近いんだけどな。女なんだよ。それでも

だから、無理かな。』

『どうして？』

『いや、だから女同士は・・・』

『おんなの子と　おとこの子は　けっこん　できるよ？』

ゆうくんは　おんなの子　ぼくは　おとこの子。だから　だいじょうぶ
『よ』

ゆうくんは　にぶにぶ　にぶちん　なのです

さいしょは　ゆうくんのこと　おとこの子だと　おもったけど

つばさは　すぐに　気づいたよ
それなのに　ゆうくんは　さいごまで　つばさを　おんなの子だと
おもってた

『男……。まして?』

『うん。ほんと　だよ。』

『気づかなかった……。』

『そうだと　おもったのよ』

たしかに　つばさは　おんなの子っぽいし、
ようふくは　ぜんぶ　ひめおねえちゃんの　おさがりだから。

いつ気づくかな? って　だましてたけど
さいごの　さいごまで　気づかないなんて・・・
にぶにぶ　にぶちん!

そんなんじゃ　すぐに　だまされちゃうよ!
へんな　おとこに　さらわれちゃうよ!!
つばさは　しんぱいだよ　ゆうくん

『それで　それで! おへんじは?』
『あーうん。そうだな』

つばさが大きくなっても僕の事が好きだったら、考えてやる』
『うん! わかったのよ!! やくそく　なのよ。』
ずっと　ゆうくんのこと　すきだから　だいじょうぶなのよ』

ぎゅーっと しゃがみこんでる ゆうくん に だきついて
ふいを ついて ゆうくんのお口にかわいい ちゅー
つばさの さいしょの ちゅーは ゆうくんにあげちゃうのよ

『へっ』

ゆうくんは いみがわからず まぬけづら
つばさは ゆうくんにおこられるまえに にげました。
やりにげ ばんざい

ゆうくんよりも かつこよくなって かえってくるから まってて
ね！

ゆうくんを まもれるように つよくなって かえってくるから
まってね！

それまで・・・

『ゆうくん バイバイ!!』

12 こねこ、ねこねこ

ぜったい わすれないでね！

こねこ、ねこねこ

これから おはなし するのは、とある ちいさな こねこの おはなしです。

ちいさな こねこが だいすきなのは とっても とっても やさしい人。

ゆうくん 十七さい とってもプリンがだいすきで とってもニンジンがだいきらい。
せがたかくって とっても かっこいい

いつも まゆに しわをよせて こわいかお。 おくちは への字ぶつ ちょうづら

だけどね よおーく 見て見て！

ゆうくんは ちよっぴりぶきょうなだけで ほんとうは はずかりやさんなんだよ。

おせつかいで　せわやきで　しんぱいしょう
こまってる人を　ほうっておけなくて　つつい　たすけちゃう
見てるこっちが　あぶなっかしく　おもうけど、いやなわけじゃ
ないんだよ。

そんな　ゆうくんに　こねこは　こいをした
あこがれ　なんかじゃないよ。　これは　れっきとした　こいごころ
チヨコレートみたいに　あまくて　かわいい　こい。

人から　すぐ　ごかいされちゃう　ゆうくん
ほんとうは　さみしいのに　言えない　はずかしがりやさんな　ゆ
うくん

だれよりも　あったかくて　やさしい　ゆうくん

すなおで　しょうじきなのに　ことばに　できない　あまのじゃく
な　ゆうくん

たまに　こどもっぽくて　むきになって　かわいい　ゆうくん
てさきは　きょうなのに　せいかくが　ぶきょうな　ゆうくん

知らない人が　たくさんいた　あのばしょで

こえを　かけてくれたのは　きらきら　おめめの　ゆうくん
きつと　あのとこ　こねこは　こいに　おちたんだね

こねこが　さみしいときに　そばにいてくれて

こねことはなればなれになったら いちばんに みつけてくれて
こねこを・・・ こねこのことを たすけて まもってくれて

ぜんぶ ぜんぶ ひつくるめて ゆうくんがだいすきだよ。

こねこは とつても あったかいきもちに なりました。

ゆうくんと いっしょに いられて ほんとうに しあわせでした。

ゆうくんとのであいに かんしゃします

そして たくさんの つたえきれない ありがとを おくります。
ゆうくんと こねこの こゆびには “うんめいの 赤い いと” が
つながってるよ

だから ほかの人に ついていつちゃ だめだからね

ゆうくんが だいすきだって こころのそこから さけべるよ

こんどは ぼくが むかえに いくから

ぜったい わすれないで まっててね。

あぶなっかしい ゆうくんを こんどは ぼくが まもってあげる
から

それまで、さみしいけど おわかれだね

かわいいなんて 言えないくらい かつこよく せいちょうして
かえってくるから きたいしててね

これで こねこの おはなしは おしまい
このあと、せいちょうした こねこが ゆうくんを むかえにきた
かどうかは・・・

また べつの おはなし

おしまい！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6003m/>

こねこ、ねこねこ

2010年10月10日04時26分発行